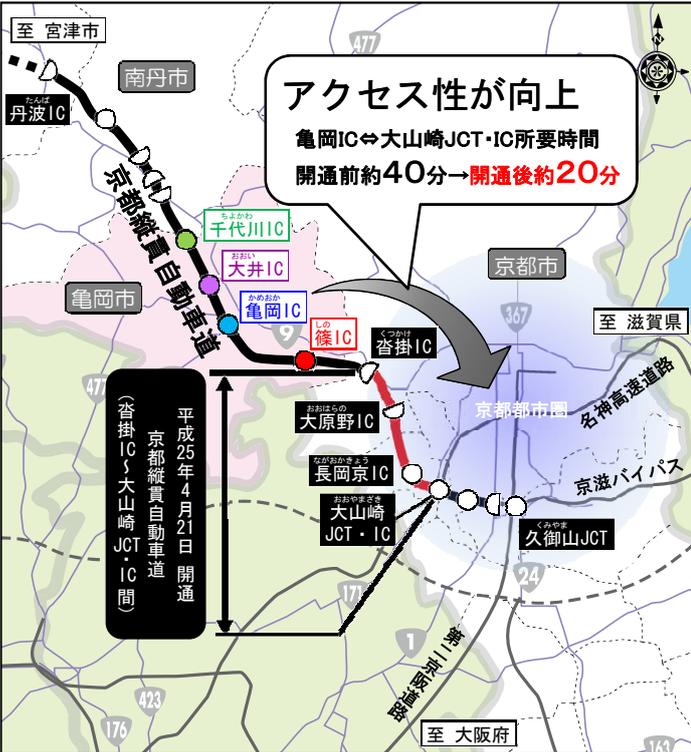


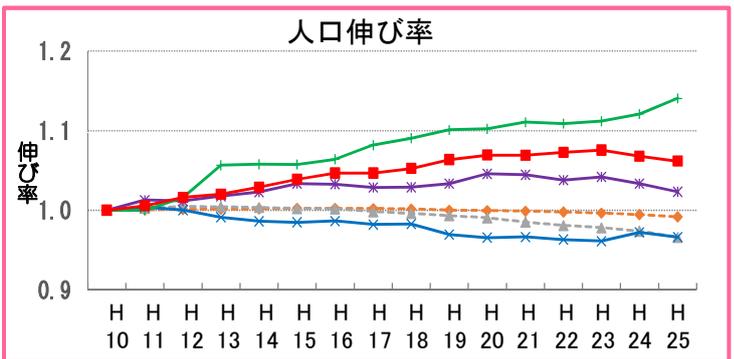
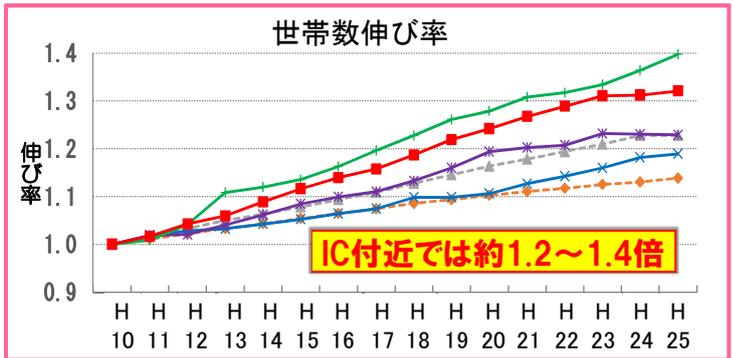
# IC周辺地域の活性化

- 今回の開通により、亀岡IC～大山崎JCT・ICの所要時間が約5割（約20分）短縮され、京都都市圏へのアクセス性が向上
- 亀岡市内において、今回開通区間の工事着手時（平成10年）の世帯数と比較し、伸び率が京都府平均（約1.1倍）を上回る、約1.2～1.4倍であり、京都縦貫自動車道のIC周辺地域で世帯数が増加しています。

## ■高速道路IC周辺の人口・世帯数の伸び



<所要時間>民間プローブデータ  
 開通前：平成24年5月～平成25年2月（7時～19時）の平均値  
 開通後：平成25年5月～平成26年2月（7時～19時）の平均値

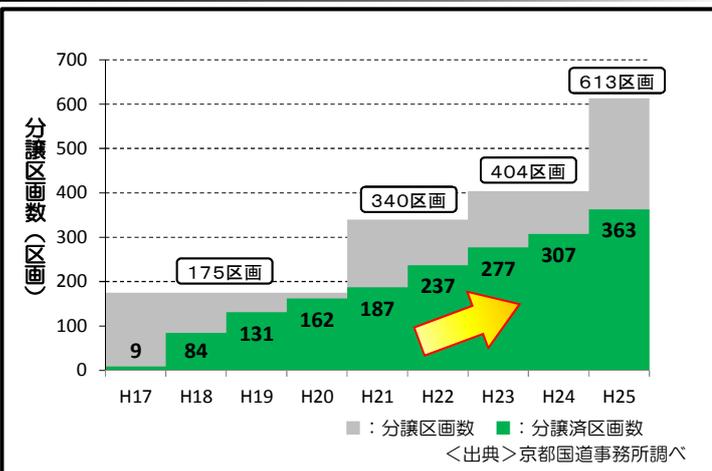


### グラフ凡例

- 京都府
- 亀岡市
- 亀岡IC周辺
- 大井IC周辺
- 千代川IC周辺
- 篠IC周辺

<出典>京都府：京都府統計書（H25は推計値）  
 亀岡市・各IC周辺：亀岡市データ

## ■篠IC周辺地域（夕日ヶ丘地区）における分譲区画割合の推移



## 高速道路IC周辺で地域が発展！！

- 亀岡市の人口は減少傾向であるが、鉄道の沿線及び、京都縦貫自動車道IC周辺地域では世帯数は増加している。
- 特に、篠IC周辺では、多くの住宅が建ててきており、人が集まってきている。
- ICアクセス等がし易く、利便性の高い地域が発展しており、今回開通区間や来年度予定されている全線開通により、亀岡市全体での人口・世帯数の増加に期待しています。

自治体担当者（亀岡市 H26.1ヒアリング調査）